

経委発 第 12 号
平成 14 年 11 月 21 日

(社)京都府情報産業協会
経 営 委 員 各 位

(社)京都府情報産業協会
経営委員長 木村道也
(文責)
京都電子計算株式会社
駒井 一正

平成 14 年度 第 3 回 経営委員会 議事録

1. 出席者（順不同、敬称略）

木村道也（竹菱電機）	小林正人（システムディ）
井上太市郎（スリーエース）	後藤則雄（NECST）
荒網 寛（近畿リサーチC）	相原義一（バンテック）
梅原和夫（京都工業）	中谷博志（京信システムS）
中川茂之（システムプロデュース）	駒井一正（京都電子計算）

京都府中小企業総合センター 産業企画部 企画総務課 企画調査係 亀岡靖幸 主事
(合計 11 名)

2. 日時 平成 14 年 11 月 12 日（火） 15:00～17:00

3. 場所 (社)京都府情報産業協会 事務局内 会議室
京都コンピュータ学院 京都駅前校内

4. 案件 (1) 景気短観調査（第 3 四半期）京都府中小企業総合センター：亀岡主事
(2) 平成 15 年 1 月開催 新春セミナーについて
(3) 本年度残り経営委員会開催行事確認
(4) その他

5. 議事

議事進行：委員長 木村道也（竹菱電機㈱） 書記：駒井一正（京都電子計算）

議事：

1) 報告事項

理事懇談会 報告（木村委員長）

本日（11 月 12 日 11:30～）平安会館で全理事、全委員長、事務局が集まり、開催された理事懇談会で、各委員長から理事にこれまでの活動状況や今後の予定等について説明されたとの報告があった。

- ・地域情報化委員会...京都ONE構想は興味深い話が出来そうで、今後注視して行きたい。
- ・企画広報委員会...明日の事業推進委員会で広報し、明日付で正式にHPをオープンする。各委員会の議事録も掲載し、ID、パスワードで今後、会員には見えるようにする。
- ・技術委員会...明日、平安会館で技術委員会の「SE研究会」(継続開催)をスタートする。
- ・経営委員会...これまでの活動を報告し、新春セミナーを計画する件を確認。

2) 京都府中小企業総合センター 景気短観調査

産業企画部 企画総務課 企画調査係 主事 亀岡靖幸氏

参加全社の現況(10, 11, 12月)と今後の見通しについてヒアリング。

亀岡氏から前回の委員会およびアンケート内容も加えての報告がされた。

460社の内、約8割は悪い。1割強が横ばいで、良いとの回答は殆どなし。

これらは、来年度に向けた見通しでも同様。

出席各社報告

- ・Y2K後、ようやく案件は出てきた、受注はやや上向き。金額面や採算面では変わらず。
- ・数字的には横ばい、但し中身は厳しい、案件は京都中心で、私企業は大幅減、受注の大幅減で厳しい。官庁・学校は変わらず。経営課題は社員の生産性向上、良い社員の確保が難しい。
- ・第2四半期と比べると少し悪い、昨年の大幅な特需が今年はない。第3四半期は第2四半期に対し横ばい。利益確保のためには経費の見直ししかない。
- ・第2四半期より受注が延びて比較的安定(学校案件)。金額的には厳しく、利益を圧迫している。経費の見直しと提案力強化が課題(トータル提案で対応)昨年、一昨年と比較的順調。政府の経済政策にも注視している。
- ・市町村合併で潜在顧客は減少見込み。入札中心になり、価格競争激化。プロパーが条件で要員補強も課題。利益を圧迫している。
- ・横ばい傾向、派遣要員の価格が下がり、採算性は悪くなっている。引き合いは以前より多くなっている、先行きは明るいのか。今後は制御系に力を入れたい。
- ・売上は多少上向き、収益は多少下向き。仕事の量は変化なし。求めるスキルにあった要員不足が部署により発生。民間が主であったが、最近は官庁に仕事があるようだ。金融系では人出しの仕事が増えている。人出しは一括受注第4四半期は収益確保のため経費見通しが経営課題。
- ・売上は前年比では若干上向き、利益率は下向き傾向。同じ様な仕事の繰り返しは単価引き下げ要求が強い。新規顧客獲得合戦で見積金額も下がっていく。
- ・4月から民需は大阪に集中された。京都では官庁系のみとなった。京都の他大阪、神戸も担当。官庁ではその性格上、時期により大幅に受注量は異なる。親会社も入札対応で厳しい状況。収益を上げるには残業対応で回転率を上げるしかない。前年対比では横ばい状況。

- ・第3四半期は第2四半期に比べ横ばい。前年比では、前年が悪かったので、売上・利益ともに多少上向き。金融系は元気。製造や物流系は大口受注が減少。経営課題では一括受注でも作業場所は客先になり付加価値を生まない、持ち帰り形態を増やしたい、パッケージの展開も必要。大手のコンピュータセンターからは、支払いサイトの見直しがあり資金繰りも厳しい。
- ・その他、報告内容から質疑応答を行う。

3) 新春セミナー開催計画の件

経営委員会が担当であり、早急に取りまとめ事業推進委員会に提示する。

テーマは、元気の出るテーマ ITに関するもの 特許に関するもの
正月くらい砕けた話 等を志向するが具体的になると準備不足
となり、審議の結果、JISA補助金申請時のテーマ「ITにお
日本の強み・ユビキタス」(仮称)をテーマとし、木村委員長に講
師(NTT ドコモ関西)の手配をお願いすることになる。

4) 本年度中の経営委員会開催行事の確認

第4回経営委員会 開催(2月12日)

景気短観調査(第4四半期)(年度総括)

特別委員会 開催(12月17日)(火)17:00~

約1時間審議の後、忘年会とする。場所は追ってご案内する。

内容は 情報交換広場開催の件

新年度事業計画(案) 予算(案)の件

経営課題の取り組みの件

次年度の計画になるが、定年対応や高齢者対策等の案が出された。

「情報交換広場」のテーマとして扱っても良い。

5) その他

次回の定例委員会開催は2月12日(火)15:00~とする。

場所は(社)京都府情報産業協会事務局 会議室の予定(追ってご案内)

6) 配布資料

「府内主用業界の景気動向(平成14年7月~9月)(報告)」

平成14年度特定サービス産業動態統計 速報(抜粋)等。

JISA ニュース速報、8月25日号~10月25日号。

以上